

矢作川流域圏年表(山部会)(1/2)

項目	( )は和暦	1950 (S25)	1955 (S30)	1960 (S35)	1965 (S40)	1970 (S45)	1975 (S50)	1980 (S55)	1985 (S60)	1990 (H2)	1995 (H7)
<社会>	人口(岡崎市)		・14万人	・17万人	・19万人	・21万人	・23万人	・26万人	・28万人	・30万人	・32万人
	高齢化率(65歳以上:岡崎市)						・6.7%	・7.5%	・8.1%	・9.1%	・10.7%
	人口(根羽村)		・3282人	・3059人	・2560人	・2121人	・1938人	・1773人	・1722人	・1599人	・1522人
	高齢化率(65歳以上:根羽村)										
	第1次産業人口(愛知県)	・35.7%	・26.5%	・18.8%	・13.6%	・10.1%	・6.8%	・5.4%	・4.7%	・3.7%	・3.3%
	耕作地面積										
	人工林の面積(愛知県)										
	人工林率(愛知県)										
	国内の公害		・水俣病(1956年)				・光化学スモッグ発生増加(1970年～)				
			・イタイイタイ病(～1970年代前半)		・本州製紙の工場排水(1958年)		・第二水俣病(1965年)				
				・四日市喘息(1960年～1972年)							
矢作川における公害				・ヘドロや工場排水のたれ流し、上流山間部の乱開発による大量の土砂の流出(1960年～)							
ダム事業				・羽布ダム(農業)完成(1963年)	・矢作ダム工事着手(1965年)	・矢作ダム竣工(1970年)	・矢作第二ダム(発電)完成(1971年)				
		・明治用水新頭首工完成(1958年)			・明治用水と枝下用水分離(1968年)				・矢作川緊急河床低下対策施工(1986年)		
<行政>	法律		・森林法(旧(第2次)森林法(1907年)を全面改正して成立)(1951年6月)				・森林法改正(森林法及び森林組合併助成法の一部を改正)(1974年)				
					・森林・林業基本法(1964年7月)						
					・河川法制定(これまでの治水に利水の追加)(1964年)					・河川法改正(治水・利水に環境の追加)(1997年)	
										・環境影響評価法(1997年)	
			・海岸法制定(1956年5月)								
					・公害対策基本法(1967年)	・水質汚濁防止法策定(1970年12月)					
								・第1次水質総量削減の策定(愛知県)			
										・多自然型川づくり通達(1990年11月)	
										・河川整備基本方針(1997年)	
										・河川整備計画(1997年)	
<自然災害> 全国における災害			・伊勢湾台風(1959年9月)								・阪神・淡路大震災(1995年1月)
						・47豪雨(1972年)					
	矢作川における災害			・台風と前線による水害(1961年)				・湯水(沖縄を除く全国)(1986年)			
					・台風7号による水害(1969年)						
				・台風25号による水害(1965年)		・台風23、25、26号及び秋雨前線による水害(1971年)	・集中豪雨により旧小原村、旧藤岡村を中心として大きな災害(1972年)				
<流域の動き> 公的機関			・豊田市誕生(挙母市から市名変更)(1959年)				・豊田市立西広瀬小学校の水質調査開始(1976年)			・森林整備協定(根羽村と安城市)(1991年)	
							・公益財団法人 矢作川水源基金設立(1978年)			・豊田市矢作川研究所設立、豊田市水道水源保全基金設立(1994年)	
										・近自然工法いより古川水辺公園建設(1992年)	
										・岡崎市環境基本計画(1999年)	
	企業・市民団体等				・明治用水土地改良区矢作川沿岸水質保全対策協議会設立(1969年)			・矢作川環境技術研究会設立(1986年)			
					・矢作川流域開発研究会設立(1971年)			・矢作新報創刊(1984年)		・第1回矢作川いかだ下り大会実施(1987年)	
	森林組合		・根羽村森林組合設立(1952年)				・飯伊森林組合設立(14森林組合合併)(1976年)			・飯伊森林組合合併(豊丘村森林組合と合併)(1995年)	
							・飯伊森林組合合併(天龍村森林組合と合併)(1978年)			・飯伊森林組合合併(南信濃村森林組合と合併)(1999年)	
農業協同組合									・恵南森林組合設立(岩村町・山岡村・明智町・串原村・上矢作町森林組合が合併)(1999年)		
漁業協同組合		・矢作川漁業会を解散、矢作川漁業協同組合設立(1950年)									
<木材生産>	木材価格の動き(林野庁公表)										
	ヒノキ中丸太			・12,000円/m <sup>3</sup> (1960年)	・18,000円/m <sup>3</sup> (1965年)	・37,600円/m <sup>3</sup> (1970年)	・66,200円/m <sup>3</sup> (1975年)	・76,400円/m <sup>3</sup> (1980年)	・54,000円/m <sup>3</sup> (1985年)	・67,800円/m <sup>3</sup> (1990年)	・53,500円/m <sup>3</sup> (1995年)
	スギ中丸太			・11,300円/m <sup>3</sup> (1960年)	・14,300円/m <sup>3</sup> (1965年)	・18,800円/m <sup>3</sup> (1970年)	・31,700円/m <sup>3</sup> (1975年)	・39,600円/m <sup>3</sup> (1980年)	・25,500円/m <sup>3</sup> (1985年)	・26,600円/m <sup>3</sup> (1990年)	・21,700円/m <sup>3</sup> (1995年)
	スギ山元立木価格						・19,726円/m <sup>3</sup> (1975年)	・22,707円/m <sup>3</sup> (1980年)	・15,156円/m <sup>3</sup> (1985年)	・14,595円/m <sup>3</sup> (1990年)	・11,730円/m <sup>3</sup> (1995年)
	ヒノキ山元立木価格						・35,894円/m <sup>3</sup> (1975年)	・42,947円/m <sup>3</sup> (1980年)	・30,991円/m <sup>3</sup> (1985年)	・33,607円/m <sup>3</sup> (1990年)	・27,607円/m <sup>3</sup> (1995年)

矢作川流域圏年表(山部会)(2/2)

矢作川流域圏懇談会活動期間

項目	( )は和暦	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)
<社会>	人口(岡崎市)	・34万人	・36万人	・38万人	・38万人	・39万人
	高齢化率(65歳以上:岡崎市)	・12.9%	・14.7%	・16.9%	・21.0%	
	人口(根羽村)	・1380人	・1253人	・1129人	・970人	・905人
	高齢化率(65歳以上:根羽村)				・49.3%	
	第1次産業人口(愛知県)	・3.0%	・2.9%	・2.3%	・2.2%	
	耕作地面積	・857百ha	・840百ha	・791百ha	・769百ha	
	人工林の面積(愛知県)	・14万ha(2000年)		・13万ha(2012年)	・13万ha(2017年)	
	人工林率(愛知県)	・64%	・64%(全国23位)	・64%(全国23位)	・64%(全国23位)	
	国内の公害					
	矢作川における公害 ダム事業					
<行政>	法律	・矢作川豊田地区東海豪雨対策着手(2000年)			・矢作古川分派施設完成(2016年)	・森林法改正(森林経営管理法を改正)(2018年)
		・森林・林業基本法改正(2001年7月)		・森林計画制度の策定(2011年7月)	・森林経営管理法(2018年4月)	
				・水循環基本法(2014年)		
		・三河湾・伊勢湾沿岸海岸保全基本計画策定(2003年)			・三河湾・伊勢湾沿岸海岸保全基本計画改正(2003年)	
					・水質汚濁防止法改正(2017年6月)	
				・三河湾里海再生プログラム(2011年3月)	・藻場・干潟ビジョン(2016年)	
				・河川法改正(2015年)	・第8次水質総量削減の策定(愛知県)	
		・多自然川づくり基本方針の策定(2006年)			・河川法改正(2019年)	
		・矢作川水系河川整備計画基本方針の策定(2006年4月)	・矢作川流域圏懇談会設立(2010年8月)	・矢作川水系河川整備計画の策定(2009年7月)		
<自然災害>	全国における災害			・東日本大震災(2011年3月)		・台風19号による東日本各地の浸水被害(2019年10月)
					・九州北部豪雨(2017年7月)	
	矢作川における災害	・東海豪雨/恵南豪雨(2000年9月)	・平成20年8月末豪雨(岡崎豪雨)(2008年)			
		・矢作ダム湯水(2001年)				
<流域の動き>	公的機関	・第1回矢作川「川会議」開催、矢作川宣言採択(2001年) ・「第1回矢作川の環境を考える懇談会」開催(2001年)	・平成の大合併(恵那市2014、豊田市2005、岡崎市20) ・上矢作ダム建設見送り(2008年)	・平成の大合併(西尾市2011)	・根羽村と安城市の親子留学制度開始(2015)	
		・根羽村とアイシングループによる「森林の里親制度」締結(2004年)	・岡崎市水を守り育む条例(2008年)	・岡崎市100年の森づくり構想制定、豊田市森づくり条例施行(2007年)	・豊田市水環境共働ビジョンが流域水循環計画に認定(2017年)	
			・岡崎市水環境創造プラン(2008年)	・岡崎市緑の基本計画(2011)	・岡崎市水環境創造プランが流域水循環計画に認定(2017年)	
			・岡崎市水循環推進協議会(2008年)			
	企業・市民団体等	・根羽村「ネバーギブアップ宣言」(2004年)	・矢作川水系森林ボランティア協議会設立(2004年～)	・おいでん山村センター設立(2013年)～地域スモールビジネス研究会・移住・定住専門部会・次世代育成部会・食と農専門部会・森林部会～	・木づがいライブ スギダラキャラバン開始(根羽村森林組合)(2014)	
			・矢作川森の健康診断開始(2005年)	・木の駅プロジェクト開始(恵那市)(2008年)	・矢作川森の健康診断終了(2014年)	
			・森の健康診断開始(土岐川・庄内川源流)(2005年～)	・豊森なりわい塾開校(2009年～)	・矢作川地域主催森の健康診断開始(豊田あさひ2回、岡崎ぬかた1回、豊田はぎの1回)	
				・第1回木の駅サミット(2012年)	・額木木の駅プロジェクト(2015)	
				・矢作川流域圏懇談会設立(2010年～)		
					・西垣林業(株)豊田工場稼働(2018年)	
	森林組合		・飯伊森林組合合併(飯田市森林組合と合併)(2006年)	・おいでん・さんそんセンター開所(2013年)		
			・豊田森林組合設立(豊田市・藤岡町・小原村・下山村・足助町・旭町・稲武町の組合が合併)(2005年)			
			・岡崎森林組合設立(額田町森林組合に岡崎市森林組合が吸収合併)(2008年)			
<木材生産>	木材価格の動き(林野庁公表)					
	ヒノキ中丸太	・40,300円/m <sup>3</sup> (2000年)	・25,500円/m <sup>3</sup> (2005年)	・21,600円/m <sup>3</sup> (2010年)	・17,600円/m <sup>3</sup> (2015年)	
	スギ中丸太	・17,200円/m <sup>3</sup> (2000年)	・12,400円/m <sup>3</sup> (2005年)	・11,800円/m <sup>3</sup> (2010年)	・12,700円/m <sup>3</sup> (2015年)	
	スギ山元立木価格	・7,794円/m <sup>3</sup> (2000年)	・3,628円/m <sup>3</sup> (2005年)	・2,654円/m <sup>3</sup> (2010年)	・2,833円/m <sup>3</sup> (2015年)	
	ヒノキ山元立木価格	・19,297円/m <sup>3</sup> (2000年)	・11,988円/m <sup>3</sup> (2005年)	・8,128円/m <sup>3</sup> (2010年)	・6,284円/m <sup>3</sup> (2015年)	

## 矢作川流域圏年表(川部会)(1/2)

項目	( )は和暦	～ 1950 (S25)	1955 (S30)	1960 (S35)	1965 (S40)	1970 (S45)	1975 (S50)	1980 (S55)	1985 (S60)	1990 (H2)	1995 (H7)		
<社会>	人口(愛知県)		・377万人	・421万人	・480万人	・539万人	・592万人	・622万人	・646万人	・669万人	・687万人		
	高齢化率(65歳以上:愛知県)												
	人口(根羽村)		・3282人	・3059人	・2560人	・2121人	・1938人	・1773人	・1722人	・1599人	・1522人		
	高齢化率(65歳以上:根羽村)												
	人口(豊田市)		・14万人	・15万人	・17万人	・23万人	・28万人	・31万人	・34万人	・36万人	・38万人		
	高齢化率(65歳以上:豊田市)												
	人口(岡崎市)		・14万人	・16万人	・19万人	・20万人	・23万人	・25万人	・28万人	・30万人	・32万人		
	高齢化率(65歳以上:岡崎市)						・6.7%	・7.5%	・8.1%	・9.1%	・10.7%		
	人口(西尾市)		・6万人	・6万人	・7万人	・7万人	・8万人	・8万人	・9万人	・9万人	・9万人		
	高齢化率(65歳以上:西尾市)												
	第1次産業人口(愛知県)		・35.7%	・26.5%	・18.8%	・13.6%	・10.1%	・6.8%	・5.4%	・4.7%	・3.7%	・3.3%	
	公害等			・水俣病(1956年)		・第二水俣病(1965年)							
			・イタイイタイ病(～1970年代前半)		・四日市喘息(1960年～1972年)		・光化学スモッグ発生増加(1970年～)						
			・本州製紙の工場排水(1958年)										
	矢作川における公害等		・ヘドロや工場排水のたれ流し、上流山間部の乱開発による大量の土砂の流出(1960年～)										
	ダム事業		・矢作ダム工事着手(1965年)		・矢作ダム竣工(1970年)				・矢作川緊急河床低下対策施工(1986年)				
<行政>	法律		・海岸法(1956年5月)	・河川法制定(これまでの治水に利水の追加)(1964年)							・河川法改正(1997年)		
			・水質保全法制定(1958年3月)			・水質汚濁防止法策定(1970年12月)					・環境影響評価法(1997年)		
			・工場排出規正法制定(1958年4月)	・公害対策基本法公布(1967年8月)				・第1次水質総量削減の策定(愛知県)		・多自然型川づくり通達(1990年11月)			
				・水資源開発促進法公布(1961年11月)									
<自然災害>	全国における災害		・伊勢湾台風(1959年9月)								・阪神・淡路大震災(1995年1月)		
	矢作川における災害			・台風と前線による水害(1961年)	・台風23、25、26号及び秋雨前線による水害(1971年)		・渇水(沖縄を除く全国)(1986年)						
				・台風7号による水害(1969年)									
			・台風25号による水害(1965年)	・集中豪雨により旧小原村、旧藤岡村を中心として大きな災害(1972年)									
<流域の動き>	公的機関	・明治用水の完成(1880年)	・明治用水新頭首工の完成(1958年)			・幸田浄水場の完成(1971年)			・豊田市に下水処理場完成(1987)		・岡崎市環境基本計画(1999年)		
		・枝下用水の完成(1890年)	・碧南市上水道(矢作川水源)の完成(1958年)			・岩倉取水工(水道、工業用水、農業用水)、豊田浄水場(水道)の完成(1972年)					・碧南市下水道供用開始(1996年)		
		・明治用水旧頭首工の完成(1901年)	・豊田市上水道(矢作川伏流水)の完成(1959年)			・安城浄水場(工業用水)の完成(1975年)							
			・一色町上水道(矢作古川水源)の完成(1959年)			・明治用水から枝下用水を分離(1968年)	・明治用水から工業用水を送水開始(1975年)				・豊田市矢作川環境整備委員会設立(1991年)		
			・西尾市(矢作川伏流水)上水道の完成(1961年)			・豊田市立西広瀬小学校の水質調査(1976年～)					・豊田市矢作川研究所設立(1994年)		
			・吉良町(矢作川伏流水)上水道の完成(1962年)			・公益財団法人 矢作川水源基金設立(1978年)					・豊田市水道水源保全基金設立(1994年)		
	企業・市民団体等	・矢作川漁業協同組合の設立(1950年)	・細川頭首工(明治頭首工から取水)の竣工(1968年)								・矢作川漁協が矢作川の優先順位解決課題7項目に関する要書提出(199		
		・枝下用水幹線(西枝下—西山室)で矢作川本川から取水開始(1890年)				・矢作川流域開発研究会設立(1971年)					・矢作川環境技術研究会設立(1986年)		
		・枝下用水の取水施設廃止(1929年)											
		・越戸水力発電所の水槽から枝下用水への分水開始(1929年)											
	発電所(ダム・堰堤)	・百月水力発電所竣工(1926年3月)				・矢作第一水力発電所竣工(1970年6月)		・矢作ダム選択取水設備完成(1979年3月)					
		・越戸水力発電所竣工(1929年12月)				・矢作第二水力発電所竣工(1971年2月)		・奥矢作発電所完成(1981年)					
		・阿摺水力発電所竣工(1934年11月)											
		・笹戸水力発電所竣工(1935年12月)											
	環境問題		・矢作川の白濁化進行(1959年)			・越戸ダム上流でヘドロ化(1970年)					・糸状藻類の確認(1990年)		
									・アユのハミ跡の減少(1985年頃～)		・アユの不漁が顕著になってきた(1990年頃)		
									・カワシオグサの異常繁茂(1980年代後半)		・オオカナダモの繁茂(1994年頃～)		
	河川環境(川の形、土砂)		・砂利採取(1963～1987年)						・河床硬化の認識(1984年頃)		・越戸・阿摺ダム砂利採取終了		
						・河床粗粒化の傾向確認(1972年頃～)					・矢作川下流部の砂利採取全面禁止(1989年)		
											・百月ダム砂利採取終了		
	<河川環境整備>	事業の流れ								・ふるさとの川モデル事業(1987年)			
									・都市清流復活総合モデル事業(1987年)				
									・せせらぎふれあいモデル事業(1989年)				
											・ふるさとの川整備事業(1994年)		
									・桜づつみモデル事業(1988年)				
									・マイタウン・マイリバー整備事業(1988年)				
									・レイクタウン整備事業(1988年)				
									・レイクフロント整備事業(1990年)				
											・まほろばの川づくりモデル事業(1993年)		
											・地域交流拠点「水辺プラザ」整備事業(1996年)		
										・水と緑のネットワーク整備事業(1996年)			
<漁獲量の変化>	内水面漁業魚種別漁獲量(t)												
	アユ(t)												
	マス類(t)												
	シジミ(t)												
	内水面養殖業 アユ収穫量(t)												

## 矢作川流域圏年表(川部会)(2/2)

矢作川流域圏懇談会活動期間

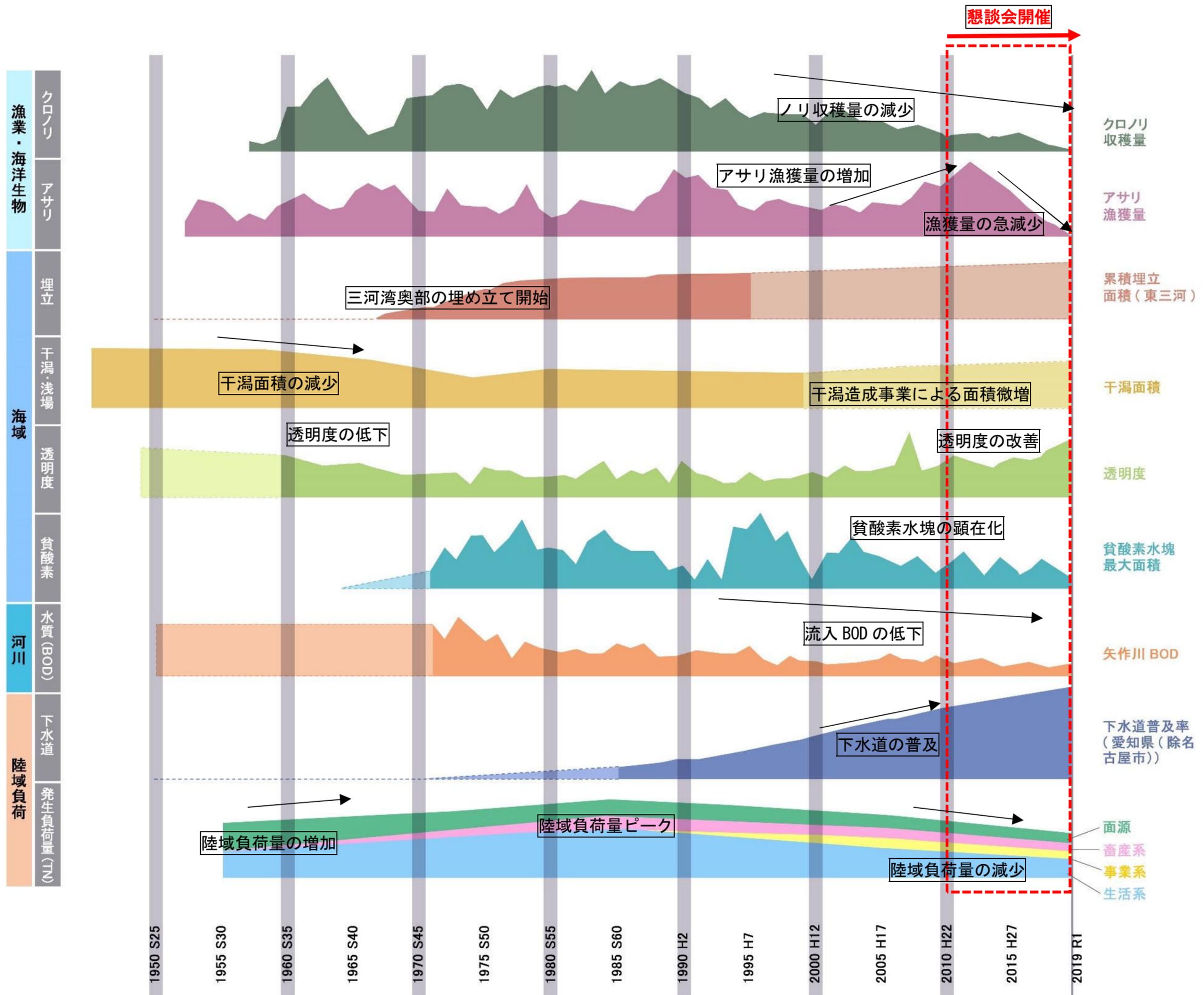
項目	( )は和暦	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)						
＜社会＞	人口(愛知県)	・704万人	・726万人	・741万人	・748万人							
	高齢化率(65歳以上:愛知県)		・18.5%	・21.4%								
	人口(根羽村)	・1380人	・1522人	・1129人	・970人							
	高齢化率(65歳以上:根羽村)				・49.3%							
	人口(豊田市)	・39万人	・41万人	・42万人	・42万人							
	高齢化率(65歳以上:豊田市)				・20.8%							
	人口(岡崎市)	・33万人	・35万人	・37万人	・38万人							
	高齢化率(65歳以上:岡崎市)	・12.9%	・14.7%	・16.9%	・21.0%							
	人口(西尾市)	・10万人	・10万人	・10万人	・10万人							
	高齢化率(65歳以上:西尾市)				・24%							
	第1次産業人口(愛知県)	・3.0%	・2.9%	・2.3%	・2.2%							
	公害等											
	矢作川における公害等											
ダム事業	・矢作川豊田地区東海豪雨対策着手(2000年)				・矢作古川分派施設完成(2016年)							
＜行政＞	法律	・海岸法改正(2002年)	・矢作川水系河川整備計画基本方針の策定(2006年4月)		・水循環基本法(2014年)	・水質汚濁防止法改正(2017年6月)						
		・三河湾・伊勢湾沿岸海岸保全基本計画策定(2003年)		・三河湾里海再生プログラム(2011年3月)	・三河湾・伊勢湾沿岸海岸保全基本計画改正(2003年)							
			・多自然川づくり基本方針の策定(2006年)	・河川敷地占用許可準則の改正(2011年3月)		・第8次水質総量削減の策定(愛知県)						
＜自然災害＞	全国における災害			・東日本大震災(2011年3月)	・九州北部豪雨(2017年7月)							
	矢作川における災害	・東海豪雨/恵南豪雨(2000年9月)		・平成20年8月末豪雨(岡崎豪雨)(2008年)								
		・矢作ダム漏水(2001年)										
＜流域の動き＞	公的機関			・豊田市の終末処理場運用終了、流域下水道に移行(2008年)								
		・矢作川河口堰建設事業の中止決定(2000年)	・豊田市100年の森づくり構想制定、豊田市森づくり条例施行(2007年)									
			・岡崎市水環境創造プラン(2008年)		・岡崎市緑の基本計画(2011)							
				・岡崎市水を守り育む条例(2008年)	・岡崎市水循環推進協議会設立(2014年)							
	企業・市民団体等	・矢作川漁業協同組合と豊田市が『矢作川流域で「川のある市民生活」回復のために覚書案』作成(2001年・豊森なりわい塾開校(2009年～)		・第1回木の駅サミット(2012年)								
		・矢作川水系森林ボランティア協議会設立(2004年～)		・矢作川流域圏懇談会設立(2010年～)	・西垣林業(株)豊田工場稼働(2018年)							
		・森の健康診断(2005年～)	・矢作川森の健康診断(2009年)	・おいでん・さんそんセンター開所(2013年)								
	発電所(ダム・堰堤)											
	環境問題		・カワヒバリガイの初確認(2004年)	・オオカナダモの大繁殖(2007年頃～)								
			・カワヒバリガイ急増(2005年)及び激減(2006年～)									
河川環境		・アメリカナマズ初確認(2005年)										
＜河川環境整備＞	事業の流れ			・「かわまちづくり」支援制度創設(2009年)	・かわまちづくり支援制度改定(2016年)							
					・ミズベリング・プロジェクト開始(2014年)							
＜漁獲量の変化＞	内水面漁業魚種別漁獲量(t)	317	267	281	272	238	197	178	422	319	165	145
	アユ(t)	220	179	168	164	144	129	134	105	106	89	76
	マス類(t)	33	26	24	27	23	19	16	15	15	15	14
	シジミ(t)	10	10	55	50	45	37	20	289	188	49	44
	内水面養殖業 アユ収穫量(t)	824	860	768	960	872	813	848	1063	1114	1160	1182

# 矢作川流域圏年表(海部会)

矢作川流域圏懇談会活動期間

項目	1950 (S25)	1960 (S35)	1970 (S45)	1975 (S50)	1980 (S55)	1985 (S60)	1990 (H2)	1995 (H7)	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)				
<社会>																	
人口(愛知県)			・539万人	・592万人	・622万人	・646万人	・669万人	・687万人	・704万人	・726万人	・741万人	・748万人					
高齡化率(65歳以上)																	
人口(西尾市)			・7万人	・8万人	・8万人	・9万人	・9万人	・9万人	・10万人	・10万人	・10万人	・10万人					
高齡化率(65歳以上)												・24%					
第1次産業人口(愛知県)			・10.1%	・6.8%	・5.4%	・4.7%	・3.7%	・3.3%	・3.0%	・2.9%	・2.3%	・2.2%					
ダム事業			・矢作ダム竣工(1971年)		・矢作川緊急河床低下対策施工(1986年)			・矢作川豊田地区東海豪雨対策着手(2000年)		・矢作古川分派施設完成(2016年)							
			・干潟が以前の50%程度まで減少(1945~1970)				・長良川河口堰運用開始(1995年)		・中部国際空港開港(2005年)								
<行政>																	
法律			・水質汚濁防止法、海洋汚染防止法施行(1971年)				・河川法改正(1997年)		・水産基本法(2001年)		・矢作川水系河川整備計画の策定(2006年)		・水循環基本法(2014年)				
			・海岸法制定(1956年5月)				・環境影響評価法(1997年)		・漁港漁場整備法(2002年)		・COP10(2010年)						
指針、制度			・CODを指定項目とした水質総量削減制度(1978年)				・東京湾、伊勢湾、瀬戸内海の集水域を指定地域とした総量削減の適用(1980年)		・漁業漁場整備基本方針の公表、第1次漁港漁場整備事業開始(2002年)		・第5総量規制に窒素、リンを加えた総量削減計画が決定(2002年)						
							「閉鎖性海域の環境に関する国際会議」開催(1996年)		閉鎖性海域中長期ビジョン策定(2010年)		藻場・干潟ビジョン策定(2016年)						
下水道整備			・矢作川浄化センター事業着手(1972年)			・矢作川浄化センター供用開始(1992年)											
			・境川浄化センター供用開始(1989年)														
<自然災害>																	
全国における災害			・伊勢湾台風(1959年9月)			・阪神・淡路大震災(1995年1月)			・東日本大震災(2011年3月)		・九州北部豪雨(2017年7月)						
矢作川における災害			・台風23、25、26号及び秋雨前線による水害(1971・濁水(沖縄を除く全国)(1986年)				・東海豪雨/恵南豪雨(2000年9月)		・平成20年8月末豪雨(岡崎豪雨)(2008年)								
			・集中豪雨により旧小原村、旧藤岡村を中心として大きな災害(1972年)				・矢作ダム濁水(2001年)		・台風18号による高潮被害(2009年)								
<流域の動き>																	
公的機関					・伊勢湾富栄養化対策指導指針_リン8%削減(1982年)		・三河湾生物環境検討会(1997年)		・伊勢湾再生行動計画策定(2007年)								
					・豊田市矢作川研究所設立(1994年)				・三河湾流域圏会議(2007年)、三河湾流域圏再生行動計画(2008年)								
					・福江湾大規模増殖場造成事業(1982~1988年)				・六条潟アサリ稚貝特別採捕制度スタート(1999年)		・三河湾環境再生プロジェクト(2012年~ 三河湾大感謝祭、三河湾環境再生体験会)						
					・三河湾シーブルー事業採択(1988年)		・シーブルー事業試験工事開始(1998年)		・伊勢湾流域圏一斉モニタリング(2009年~継続中)		・流域下水道)リン管理運転開始(2017年)						
					・三河湾”環境再生推進協議会(1990年)・中山水道航路浚渫砂を使った干潟・浅場造成(1999年)				・矢作川流域圏懇談会設立(2010年~)								
									・矢作ダム堆積砂を使用した干潟・浅場造成事業(2008年~)								
			・西広瀬小学校矢作川の水質測定開始(1976年)								・愛知県漁場環境・生態系保全対策協議会設立(2009年)						
市民団体	・矢作川沿岸水質保全対策協議会設立(1966年)			・矢作川環境技術研究会設立(1986年)													
	・矢作川流域開発研究会設立(1971年)・矢作川をきれいにする会設立(一色町:1973年、豊田市:1976年)																
<海の生業>																	
(愛知県全体)																	
漁業関係							・竹島、吉良アサリ貝毒発生(1991年)		・三河湾アサリ貝毒発生(2001年)								
							・空梅雨、猛暑でアサリ被害発生(1994年)・六条潟苦塩アサリ稚貝斃死(2001、2002年、2007年、2008年)										
							・伊勢湾沿岸アサリ不漁(1996年)・シラスウナギ不漁(2002年~)										
アサリ漁獲量(t)										10,499	17,635	16,703	17,562	16,063	10,563	8,282	3,973
アサリ稚貝採捕量(t)									1,390	3,462	2,892					3,184	
ノリ経営体数			7,015	3,684	2,604	1,895	1,248	935	567	454	279					215	
<環境>																	
COD(mg/L)						2.2	2.1	2.6	2.8	2.6	2.3		2.2	2.2	2.5		
全リン(mg/L)									0.07	0.05	0.04		0.04	0.04	0.04		
全窒素(mg/L)									0.58	0.41	0.39		0.37	0.41	0.38		
三河湾赤潮発生回数								20	20	20	29		26				
三河湾干潟の面積(ha)	2,627(1945年)			1,367(1978年)		1,549(1989年)		1,526(1996年)									
三河湾埋め立て面積(ha)	16(~1955年)	32(~1965年)	660(~1975年)		1,708(~1985年)		2,073(~1995年)		2,343(~2005年)								
三河湾藻場の面積(ha)		949(1973年)	923(1978年)		638(1989年)		570(1996年)										
<海の状況>																	
マイクロプラスチック認識									・東海豪雨によるごみの漂着(2000年)		・22世紀の奈佐の浜プロジェクト(2012年~)						
									・藤前干潟ラムサール登録(2002年)		G7)マイクロプラスチックごみ問題の認識(2015年)						

※干潟・藻場の面積は、調査回によって定義が異なることから、単純比較はできない。



※図中の破線は想定またはイメージです。 (参考) 海域の物質循環健全化計画検討 三河湾ヘルシープラン (環境省 H25.3) をもとに作図